

2019年9月27日

松江市教育委員会
教育長 清水伸夫 殿

農林中央金庫
松江営業所長 杉山浩之

チューリップ球根寄贈趣意書

弊庫は、農林水産業者の協同組合を母体とし、「農林水産業の発展に寄与することをもって国民経済の発展に資する」ことを目的に設立された金融機関です。

弊庫では、金融を通じた貢献だけではなく、被災地支援として地元産木材を活用した積み木を幼稚園等へ寄贈したほか、県内では、松江市へ松江城内で伐採された杉を使用したベンチの寄贈などの活動を行っております。また、毎年食農教育をテーマとした教材本を全国の小学校へ寄贈しております。

松江営業所におきましても、島根県や松江市の人と自然と産業の調和、自然環境の保全、街の美化を願う思いは、昭和17年1月に産業組合中央金庫(現農林中央金庫)松江出張所が開設されてから今日まで変わりません。去る4月には、「児童福祉週間」に合わせて、島根県内の保育所等に花の種を寄贈したところです。

そして今般、松江市教育委員会を通じ松江市内の小学校にチューリップの球根を寄贈させていただきます。

学校や地域の美化にとどまらず、子供たちが花を育てることを通じて、自然や生き物を大切にする心を育んでほしいと願っております。

弊庫は、農林水産業や地域の皆様の発展に貢献できるよう、微力ながら取組んでまいります。

以上